

ふるさとふちゅう

【第28回】府中町で体験、四国お遍路（13）

江本寺

再発見

第29番札所は府中町石井城二丁目の慈眼山江本寺で十一面観音菩薩を本尊とする真言宗の寺院です。江本寺が最初に出てくる史料は、正徳2（1712）年の「安芸郡府中村寺社堂古跡帳」で、「江本寺 本尊観音、木仏長五尺三寸小堂二入御座候、寺興廃并宗旨知し不申候」とあります。高さ約160センチメートルの木造の観音菩薩像が安置された小さなお堂があるだけで、すでに寺の歴史や宗旨は分かりません。延享3（1746）年の「安芸郡府中村書出帳」では村の人数は2740人で、宗派別では真言宗37人、浄土宗19人、禅宗101人、法華宗3人、真宗2580人とあります。圧倒的に浄土真宗門徒が多い中で、真言宗寺院は維持が難しかったでしょう。昭和7（1932）年に刊行された『芸州府中荘

誌』には、道隆寺が繁盛していた頃、その末寺に江本寺があり、参詣者を多く集め、江本寺が地名になったと記されています。境内の石灯籠には文化10（1813）年、奉寄進・江本寺連中と彫られています。江本寺地区の人達の寄進ということですが。広島新八十八カ所霊場事務局HPには寺の縁起が載せられています。開基年代は不明で、本尊十一面観世音菩薩の他、薬師如来、地藏菩薩など多くの仏像を有する広大な伽藍であったが、昭和16（1941）年1月1日未明の火災で仏像その他すべてを焼失し、昭和41（1966）年に堂宇を建立して現在に至ると記されています。熱心な個人や地域の力により現在まで維持されてきたことが分かります。

江本寺は現在、住宅地の中にありますが、後ろの丘は石井城跡です。城山の麓の緑に



囲まれた寺院だったのです。江本寺の地名は昭和51（1976）年の住居表示変更によりみくまり一丁目、みくまり二丁目、石井城二丁目となり、なくなりましたが、旧江本寺の住民で江本寺町内会を結成し、寺を江本寺会館と名付けて集会所としています。普段は信仰的な行事は休止されていますが、第3日曜日に開扉し、参拝できるようにしています。29番札所の御朱印は31番の金剛寺でいただけます。境内には手水石や石灯籠、五輪塔、墓石、地藏などが残されており、かつての信仰の様子を伝えています。

府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

パツとカンタン！

朝パツ君のかんたんレシピ

新生活を応援！お手軽レシピ！

豚たま丼

みんなが元気に過ごせますようにという願いを込めて、今年度もおすすめレシピを紹介します♪



材料（2人分）

- ・豚小間切れ肉：150g
- ・たまねぎ（くし切り）：1/2コ（120g）
- ・水菜（ざく切り）：4本（20g）
- ・めんつゆ（ストレート）：3/4カップ
- ・砂糖：小さじ1
- ・卵（溶いておく）：2コ
- ・ごはん：茶碗2杯

作り方

- ①フライパンにめんつゆを入れてひと煮立ちさせ、たまねぎを加える。
- ②たまねぎがしんなりしてきたら、豚肉を加えて煮る。
- ③豚肉に火が通ったら、溶き卵を回し入れる。
- ④軽く混ぜ、半熟状になったら、水菜を散らし、火を止める。
- ⑤ごはんの上にのせて出来上がり☆



☎朝パツ君ネットワーク（事務局：健康推進課）☎286-3257